【経済学科　国語基礎学力型】

〔一〕

問 1	1	2	3	4
	明快	だっしゅ	才覚	占
	5	6	7	8
	がかい	偏在	双方	隔
問 2	4			
問 3	2			
問 4	自壊作用			
問 5	5			
問 6	3			
問 7	それは時代			
問 8	2			

〔二〕

問 1	1	2	3
	いかん	じゆう	休憩
問 2	2		
問 3	1、5		
問 4	1、2、4		
問 5	1、3、4		
問 6	統計調査は、政府が適切な経済政策を立案し、実施する際の基礎となる重要なものである。政策の立案にあたっては、可能な限り多くのデータを収集して、現状を正確に把握する必要があり、そのために多くの統計調査を行うことには意義がある。一方、あまりにも多くの統計調査を行った場合、調査結果の整理や分析に多くの時間が必要となり、調査の時点と政策の立案・実施の時点との間に時間的なラグが生じ、適切な政策を実施することが困難になるおそれがある。また、多くの統計調査を行うと、その分多くの人員や費用が必要になるという問題もある。今後の統計調査の在り方としては、現状の用紙に記入して提出する方法や職員による聞き取り調査を止め、調査のデジタル化を進めていくことで、上記のデメリットを軽減し、メリットを最大限生かしていく方向が望ましい。また、経済構造の変化等を踏まえて、調査する項目を適宜見直していくことも必要である。（395 字）		